

扶 養 親 族 届

令和 年 月 日提出

| | | |
|--------------|--------|---|
| 中標津町長 西村 穰 様 | 所属部課名等 | |
| | 職名 | 氏名 印 |

職員の給与に関する条例第9条の規定に基づき次のとおり届け出ます。

届出の理由〈該当する□に✓印を付けること〉

- 1 新たに職員となった
- 2 新たに扶養親族としての要件を具備するに至った者がある
- 3 扶養親族としての要件を欠くに至った者がある(子、孫及び弟妹で満22歳の年度末を超えた者を除く)

| 扶養親族の氏名 | 続柄 | 生年月日 | 同居・別居の別 (別居の場合は住所) | 所得の年額 | | 届出事実の 発生日 | 届出の事由 |
|---------|----|------|-----------------------|-------|----|--------------|-------|
| | | | | 所得の種類 | 金額 | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

- (注)
- 1 「続柄」欄には、職員との続柄を(重度心身障害者として届け出る場合は、その旨を併せて)記入する。
 - 2 「同居・別居の別」欄で、別居の場合の住所地は市区町村名まで記入する。
 - 3 「所得の年額」欄には、給与所得、事業所得、不動産所得、年金所得等恒常的な所得がある場合に、これらの種類ごとにその年額(見込額)を記入する。
 - 4 「届出事実の発生日」欄には、新たに職員となった者に扶養親族としての要件を具備する者がある場合にその職員となった日を記入し、職員に扶養親族としての要件を具備に至った者がある場合又は扶養親族としての要件を欠くに至った者がある場合にそれぞれその事実の生じた日を記入する。
 - 5 「届出の事由」欄には、届出の理由の2又は3に該当する場合にその事由(例えば婚姻、離婚、出生、死亡、満60歳以上等)をそれぞれ記入する。

参考〈上記扶養親族を職員と共同して扶養している者がいることその他認定上参考になると思われる事項があれば記入する。〉

| | | | | | | | |
|-----|---|---|--------|---|----------|-----|-------------|
| 令和 | 年 | 月 | から | 円 | 増額 減額 | 支給し | 受 付 印 |
| 月総額 | | | まで | | | | |
| | | | 円とする | | | | |
| | | | 取扱者氏名印 | | | | |